

# ふれあい

No.215



## 事務所が移転します

10月11日(火)から、新十津川町社会福祉協議会、新十津川町ボランティアセンターの事務所を移転し、業務を行うことになりました。

《移転先》新十津川町字中央306番地3  
新十津川町農村環境改善センター内  
※電話番号、FAX番号に変更はありません。

社会福祉協議会の移転に伴い、社会福祉協議会が所管している関係団体の事務局も移転します。

### 《関係団体》

- ・共同募金委員会
- ・老人クラブ連合会
- ・身障福祉協会
- ・遺族会
- ・シルバーセンター
- ・赤十字奉仕団
- ・日本赤十字社新十津川町分区

※地域活動支援センターあざれあ工房は移転しません。



### 社協ホームページがリニューアル!

10月の社会福祉協議会の改善センターへの移転に合わせて、社会福祉協議会のホームページをリニューアルします。

福祉のまちづくりを推進するため、地域の福祉やボランティアなどに関する情報発信や社協職員のブログなどを行っていますので、ぜひご覧いただき、ご意見やご要望をお寄せください。

ホームページは新十津川町ホームページ内のリンクほか、「新十津川町社会福祉協議会」と検索すると閲覧することができます。



### ボランティア研修会を開催します

9月27日(火)にゆめりあ多目的ホールで「ボランティア研修会」を開催します。

北海道総合福祉研究センターの五十嵐理事長を講師にお招きし、ボランティア活動についての講演をしていただく予定になっています。

参加費は無料で、どなたでも参加することができます。ボランティア活動や地域福祉に興味・関心がある方は、ご参加ください。

なお、町内および空知管内の新型コロナウイルスの今後の感染状況によっては、中止または延期となる場合があります。

## 社協フェアを 開催します！

10月15日(土)に、改善センターリニューアルオープンセレモニー、福祉フェア(福祉のつどいを改善センターで開催します。福祉フェアでは、「見て、触れて、買う」体験を通して、福祉およびボランティアがより身近なものになるよう、福祉作文コンクール入賞者による福祉作文発表や近隣作業所・関係団体などの製品販売や活動紹介を行うほか、福祉用具の展示・体験、アトラクションなども計画しています。また、福祉フェアと同時に開催イベントとして、改善センター前の北中央公園では、しんとつかわマルシェが開催されます。皆様のご来場をお待ちしています。

なお、町内および空知管内の新型コロナウイルスの今後の感染状況によっては、内容を変更しての開催となる場合があります。



## ご当地ピンバッジデザインコンクール

新十津川町共同募金委員会では、広く赤い羽根共同募金をPRすることや赤い羽根共同募金を身近に感じてもらふことなどを目的に、新十津川町と赤い羽根がコラボしたご当地ピンバッジを作成し、今年度で第7弾となりました。来年度のご当地ピンバッジは、「ご当地ピンバッジコンクール」を実施し、皆さんから応募していただいた作品の中から、選ばれた最優秀デザインをもとにご当地ピンバッジを作成します。

テーマは、「新十津川町と赤い羽根」。デザインは新十津川町を連想できるものであれば自由です。  
※ただし、赤い羽根をデザインの中に入れてください。

作品の応募期間は、令和4年10月1日から12月28日までとなっており、ゆめりあおよび改善センターに設置の投函いただくか、デザインを撮影、スキャンしたものをメールで送ってください。応募用紙は、社協事務所にて配布しているほか、ホームページからダウンロードすることもできます。

町民であれば、どなたでも何点でも応募することができます。たくさんのご応募をお待ちしています。

### ご当地ピンバッジコレクション2016～2022



## ボランティアを募集しています

ボランティアグループ「みみずくの会」では、独居高齢者の方に電話をし、安否確認と一人暮らしの方の話し相手になり、孤独感を解消するお手伝いをしています。「みみずくの会」では、随時会員を募集しています。

### ■ボランティアの内容

1日5～10件程度の高齢者宅に電話

### ■活動日時

毎月1～2回(月・水曜日)

9～16時までの都合のつく時間帯で約1時間程度

### ■活動場所

社会福祉協議会

**このサービスの利用希望者も随時募集しています**

## 朗読テープ、利用しませんか？

朗読ボランティアグループ「ゆめクラブ」では、地域の情報、エッセイ、健康などに関する情報などを録音・編集し、目の不自由な方や利用を希望される方へ配布しています。

テープを聴くラジカセなどが無いなどの相談にも応じますので、聞いてみたい、興味があるという方は社会福祉協議会までご連絡ください。

なお、この朗読テープは無料で利用することができます。

**一緒に活動していただける方も募集しています**

# 10月から共同募金運動がスタートします。 ご理解、ご協力をお願いいたします。



期間:令和4年10月1日(土)~12月31日(土)

## 赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くする仕組み」です。

「赤い羽根共同募金」は共同募金の愛称です。昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり、多くのボランティアの方々の協力のもと、毎年10月から共同募金運動が行われています。

共同募金は「地域福祉の推進」を目的としており、少子高齢化が進む中で、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの福祉活動や、地域でさまざまな福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられています。

一人ひとりのまちを思う優しさが、地域で暮らす私たちのつながりを強くし、輪となり広がっていきます。

新十津川町共同募金委員会では、10月1日から12月31日までの「赤い羽根運動」で180万円。12月1日から12月31日までの期間で行われる「歳末たすけあい義援金運動」で120万円。合わせて300万円の募金目標を設定し、各種募金活動に取り組みます。

## 集められた募金は、つぎのように有意義に使われています。

### 赤い羽根共同募金の使い道

(令和3年度助成実績)

給食サービス事業	150,000円
子ども会活動支援事業	250,000円
福祉協力校支援事業	150,000円
福祉作文コンクール	150,000円
福祉のつどい開催事業	50,000円
ボランティア団体支援事業	150,000円
社協だより発刊事業	122,077円
すまいるあつぷ活動支援事業	150,000円
子どもと高齢者のふれあい事業	中止(返還)
レザーカッター導入事業	275,000円
募金事務費	299,167円

**赤い羽根合計 1,746,244円**

### 歳末たすけあい義援金の使い道

(令和3年度助成実績)

見舞金贈呈事業	128,000円
地域福祉実践活動推進事業	750,000円
ニコニコ笑顔宅配事業	70,000円
給食サービス事業	200,000円
あざれあ工房社会見学事業	120,000円
福祉のつどい開催事業	50,000円
募金活動経費	51,369円

**歳末たすけあい  
義援金合計 1,369,369円**



福祉作文コンクール



福祉フェア(福祉のつどい)



すまいるあつぷ



あざれあ工房社会見学



地域福祉実践活動





# スマホ教室・ICT体験会を開催します

日常生活の中で、スマホやICTの活用が子どもから高齢者まで必須になってきていることから、スマホの保有者・未保有者関係なく、スマホやICTに触れることのできる「スマホ教室・ICT体験会」をふれあい横丁を会場に開催します。スマホの設定方法や操作方法について、社協職員がレクチャーを行うほか、社協が保有するスマホやパソコンを使用し、ビデオ通話やYouTubeの視聴体験などを行います。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、事前に電話による予約をお願いします。

▽日時 10月28日(金)10時から12時まで

▽場所 ふれあい横丁

▽参加費 無料(コーヒーを一杯、サービスします。)

▽その他 ・契約変更や課金などを必要とする設定変更などではできません。  
・スマホをお持ちの方は、スマホをお持ちください。  
・予約の際、聞いてみたい設定・操作方法などがあればお伝えください。

▽問合せ 新十津川町社会福祉協議会 ☎76・26000

※ICTとは…Information and Communication Technology(情報通信技術)の略で、通信技術を活用したコミュニケーションのことをいいます。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用したサービスなど総称です。



# 身障福祉協会

●7月21日、北竜町民会館において、令和年度空知地区身体障害者福祉北竜大会が開催され、新十津川町身障福祉協会から8名の会員が出席しました。

NPO法人カムイ大雪バリアフリー研究所就労継続支援事業所「チーム紅蓮」代表の五十嵐さんの講演があり、バリアフリーや障がい者の地域活動などの話に参加された会員は熱心に耳を傾けていました。

●7月28日には、札幌市及び札幌市周辺での会員研修を実施しました。

参加者の高齢化や会員数の減少により、参加会員は4名と少なくなりましたが、建設途中のエスコンフィールドEXOKANDOOや北海道博物館を見学しながら、交流を深め、有意義な会員研修となりました。

身障福祉協会では会員を募集しています。身体障害者手帳が交付されている方であればご納金でも入会することができます。また、手帳を交付されていない方であっても、賛助会員として入会することができますので、興味のある方は事務局(社会福祉協議会 電話76・26000)までご連絡ください。



# ご厚情感謝申し上げます

## ●社会福祉協議会へ

◆渡邊憲さん(青葉) 5万円

◆故正義様生前のお礼

◆どさんこプロレス元氣道場 26,753円

福祉資金として 3万円

(チャリティープロレス募金)

◆大島彰則さん(橋本) 3万円

◆故キク様生前のお礼

# 社協雑記

4回目のコロナワクチン接種が進んでいます。離れて暮らす母のワクチン接種はいつも私がオンラインで予約をしているのですが…入力に必要な10桁の接種券番号を覚えてもらおうと電話で母に聴くものの、母にはなかなか番号が見つけれられません。「(母)そんな番号書いてないよ」「(私)書いてるからちゃんと書類見て」…そんなやり取りが数分続くといい加減お互いイライラが募ります。

やっと接種券番号を探し当てオンライン予約の最終段階へ。「(私)ワクチンどれにする?」と、ファイザーにするかモデルナにするか訊いたつもりが、母から返ってきたのは「〇〇医院でお願い」。予想だにしない答えにそれまでのイライラが吹き飛び「わかったよ～」と笑いながら電話を切ることができました。

聞き間違えとはいえ、想定外の答えを出す母には頭が下がります。Hi

新十津川町社協広報「ふれあい」は、赤い羽根共同募金の助成を受け、発行しています。